

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	施設管理事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	01	07	01	01
政策	06	公・民パートナーシップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）		主管課	財産活用課				
施策	6-2	健全で効率的な行財政運営		主管課長	石戸 敏久				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	本庁舎及び公用駐車場等の公用財産	意図	維持管理費の削減に努めながら適正に管理する。
事業内容	維持管理費用及び光熱水費等の低減を図りながら、市民及び職員が最良の環境下で利用できる公用財産を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	本庁舎建設から30年が経過し、建物及び設備の老朽化が進み計画的な補修が必要となる。財政の厳しい状況下で、大規模な補修事業の実施が困難であるものの補修箇所を限定しつつ、維持管理予算の削減に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	維持管理費	72,558	66,283	71,080	千円	↓↓↓	
②	光熱水費	22,564	18,989	21,302	千円	↓↓↓		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 光熱水費の単価が上昇しており、増加した。引き続き、良好な施設環境の保持に配慮しながら、節電等に努める。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		72,557,688	66,282,860	77,792,345				
事業費(b)(円)		72,557,688	66,282,860	71,080,345				
うち一般財源		72,557,688	66,282,860	71,080,345				
職員給与費(c)(円)				6,712,000				
人役・職員(人)				1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画の策定に向けて課題の整理等を行う。	③取組の課題	良好な施設環境の保持に対する経費の削減が困難になりつつある。
②今年度(H29)に実施した取組	事務室修繕、雨漏り修繕、内窓修繕、誘導灯修繕等を行った。また、個別施設計画策定に向けて職員による現地確認等を行い、課題を整理した。	④今後(H30以降)の改善計画	庁舎の老朽化が進み計画的な修繕が必要。公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画を策定する。